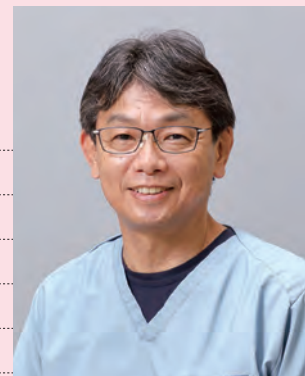




胸の痛みの原因がわからない？ それ“CMD”かも知れません。

循環器内科

桶家 一恭



狭心症は、冠動脈の異常により心筋に虚血を生じ、典型的には絞扼感や圧迫感のような胸痛を自覚する心疾患です。診断が遅れると、急性心筋梗塞や心不全・突然死の原因となります。狭心症は、大きく3つの原因があるとされ、その一つは粥状硬化による冠動脈の狭窄や閉塞を生じる病態で、一般的な狭心症はこのタイプです。それとは別に冠動脈に攣縮を生じて心筋虚血を生じる冠攣縮性狭心症があり、主に安静時や夜間睡眠中に発作を生じることが多い狭心症です。そして第3の狭心症とされるのが“CMD”(Coronary Microvascular Dysfunction)で日本語では冠微小循環障害といいます。これは冠動脈の400 μ m未満の微小血管の調節機能低下や攣縮が原因で心筋虚血を生じる狭心症で、中年以降の女性に多く、女性ホルモンの影響も示唆されています。以前から狭心症の最終検査として心臓カテーテル検査が行われていますが、多くの施設では冠動脈を造影し、狭窄の有無の確認が主で、冠攣縮誘発テストまで行う施設は少数派と言われておりました。また最近まで冠微小循環を評価する方法がほぼ無かったため、CMDを疑いつつも確定診断ができない状況が続いていましたが、当科では冠攣縮誘発テストはもちろん、2023年よりCOROFLOWシステムを導入し、冠動脈内に温度センサー付プレッシャーワイヤを挿入し、冠微小循環の評価を行いCMDまで精査するよ

うにしています。

小生の持論ですが、病気は正確に診断してこそ最適な治療が行えるはずで、狭心症に対しても精密な診断を心掛けて

おります。そんな中、この4月より心臓カテーテル装置が最新型の機種に更新され、より精度の高い診断・治療が可能となりました。“胸の痛みの原因がわからない”患者さんがいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。



冠微小循環評価のためのColo Flowシステム



2026年4月より導入した心臓カテーテルシステム (Azurion7B1212; Philips社製)

研修・講演・学習会のご案内



1. 地域連携症例検討会（ハイブリッド開催）

※8月の地域連携症例検討会の開催はありません。

予告 9月の予定は下記のとおりです。ご参加をお待ちしております。

日時：9月8日（火） 19：00～20：00（ハイブリッド開催）

場所：当院3階 講堂

内容：①症例検討 1例（担当）泌尿器科
②ミニレクチャー 1題（担当）内分泌内科

2. ダイアベティス研究会（旧：糖尿病研究会）

日時：令和8年7月16日（木）17：30～18：30

場所：当院3階 301会議室

テーマ：慢性微小炎症としての歯周病：糖尿病悪化因子を口腔から取り除くためには

講師：歯科衛生士

3. 褥瘡セミナー

日時：令和8年7月23日（木）17：30～18：15

場所：当院3階 講堂

テーマ：褥瘡ケア Q&A ～褥瘡について楽しく学びましょう～（仮）

講師：医療法人社団廣仁会 札幌皮膚科クリニック院長
日本褥瘡学会理事
安部 正敏先生



作：病院ボランティア 篠崎 佳子

信頼される医療を、地域と未来をつなぐ情報発信

広報委員長 土岐 善紀

このたび当院では、地域の皆さまとのつながりをさらに深めるため、公式Instagramを開設いたしました。当院の価値観である、「信頼・良質・思いやり・つながり・俊敏」を体現してまいります。

医療は病院内で完結するものではありません。私たちは、地域の皆さまの健康を支えるパートナーとして、病院の日常や医療に関する情報、健康づくりに役立つ情報をわかりやすく発信していきます。

開設まで時間はかかりましたが、医療情報の発信は「速報性より信頼性」を重視すべきと私たちは考えています。

ぜひフォローしていただき、当院をより身近に感じていただければ幸いです。

【公式Instagram】



TOYAMACITYHOSPITAL

リハビリテーション科のご紹介

当院リハビリテーション科には4名の言語聴覚士（ST）が在籍しております。STは、入院患者さんを中心として「ことば」や「聴こえ」などのコミュニケーションや、「食べること」に関するリハビリテーションを実施しています。

コミュニケーションの問題は外見からはわかりにくいことが多く、周囲の理解が得られにくいことがあるため、常に患者さんの立場に立ってどのようなことを伝えたいのか想像力を働かせながら関わっています。そして、入院生活だけではなく、今後の生活を見据えた切れ目のない支援ができるよう高次脳機能評価・練習を実施しています。また、早期に栄養手段の確立ができるよう主治医や耳鼻いんこう科医師と連携して嚥下機能評価も行っています。「家族と話がしたい」「仕事に復帰したい」などのことばや聞こえ、嚥下などの問題をもつ方とご家族の「当たり前」を取り戻すためのお手伝いができるよう、今後もチーム医療の一員として地域医療に貢献できるように取り組んでいきたいと考えております。



医師不在のお知らせ

※外来担当日の休診のみ掲載

7月

科名	医師名	不在日	科名	医師名	不在日
内科	向井	29日	呼吸器・血管外科	横山	23日
外科	宮下知	3日、16日、17日、31日	小児科	中橋	9日、10日
	羽田	15日	耳鼻いんこう科・頭頸部外科	辻	22日
整形外科・関節再建外科	重本	31日		児島	15日、16日
産婦人科	津田	13日、24日	歯科口腔外科	朽名	31日
	竹内	29日、30日	緩和ケア内科	中山	10日
皮膚科	大石	21日			
脳神経外科	山野	17日			

※その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。

TEL 076-422-1112(代)内線2168

編集後記

私事ですが、訳あってしばらく休職させていただき、今年の3月より職場復帰いたしました。しんどくつらい日々もありましたが、再び動かさせていただくことに感謝しながら仕事をしています。休んでいる間に嬉しいこともありました。孫の誕生です。

現在3歳になります。預かった日には公園に行くのですがついて行くのに必死で疲労困憊です。でも「ばーば、おいでー」と言われると、可愛らしくて嬉しくてついつい甘やかしてしまう新米ばーばです。

職場ではしばらくぶりの新米ですが、入院される患者さんのお力になれるよう頑張りますので、よろしく願います。

ふれあい地域医療センター 花田 美紀

「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1112(代) / FAX 076 (422) 1154
メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp



ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん何でも相談室:メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp